

2012年1月30日

「女性リーダー社会起業特論」-“社会を変える”にチャレンジする道

お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター

村山 真理

1. リーダーシップ養成教育研究センター紹介

① 設置の背景

日本における女性活用の実態は世界的水準をはるかに下回っている。現状を改善すべく「社会のあらゆる分野において、指導的立場の女性の割合を2020年までに30%程度」(H17年「第2次男女共同参画基本計画」より)という政府の目標を受け、お茶の水女子大学は「女性リーダー育成プログラム」(H18～)を開始し、H20年度にリーダーシップ育成教育研究センターを設立した。

② 主な活動：女性リーダー育成と多様性を活かす組織の構築

当センターは、女性リーダーの育成と多様性を活かす組織の構築を男女共同参画社会実現のための両輪と定義し、その両面に渡る研究活動とその成果(お茶大モデル)の発信を目指している。具体的には、学生を対象としたリーダーの資質を高める授業・講演会(リーダー育成教育)、子育て中の女性研究者支援および男性をも対象とした介護・看護時の一時支援(学内環境整備)、女性リーダー育成・Diversity Management・グローバルリーダー育成に関する勉強会(研究活動)を実施している。

③ 「知の市場」を通して達成したいこと

最近では、行政や企業からの問い合わせが増加してきており、学生と社会人の違いを超え、育成側の問題意識には共通点が多い事が分かった。本来、学びをデザインする方法論は共通であり、本学の女性リーダー育成プログラムを社会人にも有益なものに改良できるのではないかと。同時に、本科目が本学学生と社会人の交流の場となることを期待したい。

2. 科目「女性リーダー社会起業特論」紹介

① 目的：リーダーの思考特性・行動特性の醸成

本講座のゴールは「起業を目指す」ことではなく、大組織の中にあっても「起業家の心」で主体的に考え、行動するマインドセットの構築を目指す。マインドセットの変化は行動の変化に通じる。すなわち、受講者一人一人が、現在の職場の中にあっても「小さな変革」を起こす人に変容することが本科目の目的である。

② 科目概要

世界はリスクに満ちており、これを克服するリーダーが求められている。リーダーとしてのマインドセット(変革への意欲、柔軟な発想、ポジティブシンキングなど)を構築するとともに、必要なスキル(セルフ・コーチング、コミュニケーション、協働など)を学び、それらを実践して課題に取り組む。「社会問題を解決するビジネスモデルを考える」が今回のテーマで、受講者は必ず5人ひと組のグループで活動し、最終プレゼンテーションを実施する。